

大津島戦争遺産保存活用に関する研究

徳山工業高等専門学校 学生会員 ○西山 翔太郎
徳山工業高等専門学校 正会員 中川 明子
中国電力株式会社 非会員 木村 未希

1. 序論

本研究の対象とする戦争遺産を有する大津島は、山口県周南市に所在する、徳山港の沖合約 10 数 km に浮かぶ面積 4.73km²の小さな島である。

この大津島には戦時中、回天と呼ばれる兵器の発射訓練基地をはじめ、多くの軍事施設があった。回天とは通称人間魚雷と呼ばれ、魚雷に人間を搭乗させて敵艦に突撃する為の特攻兵器である。

しかし戦争が終わった現在、数多くあった軍事施設はほとんど残存しておらず、残存するものも、回天発射訓練基地跡のように当時の面影を残すに留まっており、安全面等の問題から、立ち入り出来ない戦争遺跡も多く存在する。

本研究の目的は、大津島に現存する戦争遺産の現状を記録し、他の戦争遺産と比較を行いながら、この土地に適した保存活用方法を検討することである。同時に、回天発射訓練基地跡に関する歴史的 위치付けの為の資料を作成し、回天発射基地跡の文化財指定申請を目指し、その際の資料作成を目的とする。

2. 大津島の歴史について

(1) 回天発射訓練基地跡

回天発射訓練基地跡は元々、当時最高の性能を誇っていた九三式酸素魚雷の試験場として 1937 年に開設された。そして、この九三式酸素魚雷を改造して人間が乗り込めるようにしたものが回天である。その後、1944 年 8 月に回天は正式採用され、同年 9 月 1 日に試験場は回天発射訓練基地として生まれ変わった。この時、試験場の設備の多くはそのまま回天発射訓練基地になった後も使用された¹⁾。

また、平成 18 年度には「全国で唯一残っている太平洋戦争末期につくられた人間魚雷「回天」の発射訓練基地で、戦争遺産として貴重である。」という理由により、土木学会の選奨土木遺産に認定されている²⁾。

(2) 戦争遺産について

回天発射訓練基地に続くトンネルは 1937 年に掘削された。また、現在は補修され中に音声ガイドが設置されており、回天発射訓練基地跡に続く道として利用され続けている。戦後間もなく、軍事施設の多くは解体され、当時の物資不足から解体された資材は様々な方法で再利用された。その内の一部は、周南市内の徳山商工会議所、丸福ホテル（現：ザ・グラマシー）などに利用された³⁾。

3. 研究方法

(1) 現地調査について

文化財指定申請の際に提出する基礎資料作成のために各種戦争遺産の実測調査を行った。

使用した道具は下記の通りである。

- a) 光波距離計 (Leica : TCR805S power)
- b) 巻尺 (シンワ : FW-50)
- c) 曲尺 (シンワ : 厚手広巾シルバー 50cm 11481)
- d) レーザー距離計 (Leica : Leica DISTO A5)
- e) 方眼紙 (コクヨ : 方眼紙 ホ-18N A3 1mm 方眼)

(2) 戦争遺産の調査

関連書籍や、インターネット等で他の戦争遺産について調査し、結果を遺産名称、竣工年、構造、所在地、活用・備考の各項目について表にまとめた。



図-1 調査範囲

4. 現地調査

(1) 概要

2009年9月7日から2009年9月11日の日程で、**図-1**に示す範囲に所在する、回天発射基地跡、見張り台跡及び見張り台跡までの遊歩道、兵士訓練用階段、変電所跡、危険物貯蔵庫跡、点火試験場跡、基地の門柱の実測調査を実施した。

(2) 図面

実測したデータを基に、JW-CAD で各種戦争遺産について**図-2**のような図面を作成した。また、ここで作成した図面は文化財指定を申請する際の基礎資料として提供することも視野に入れた。

5. 戦争遺産の事例

(1) 現状整理

日本各地に点在する、海軍が関係している戦争遺産を**表-1**にまとめた。その際保存状況を参考文献より判断し、新しく生まれ変わったものを□、管理が施されており現状維持できているものを○、管理が不十分で時間経過による風化が起こっているものを△、管理不良により荒地化しているものを×と判定した。

(2) 判定結果

計:100件, □:17件, ○:44件, △:32件, ×:7件
指定文化財・登録文化財:11件

以上の結果より、管理が施されており現状維持できているものが約半数を占めた。しかし、管理状態が不十分なものも少なくない。大津島に残存している戦争遺産は、管理が不十分で時間経過による風化が起こっているもの(△)に価するといえる。

表-1 戦争遺産の保存方法調査結果^{註)}

遺跡名称	竣工年	構造	所在地	活用・備考	判別	遺跡名称	竣工年	構造	所在地	活用・備考	判別
十勝トーチカ群	1944	コンクリート	北海道広尾郡	海中に消える恐れあり	×	愛知航空機瀬戸臨工跡 水野地下工場	1945	コンクリート	愛知県瀬戸市水野	瀬戸市公民館の敷地内	△
五小牧・重弘一十小牧群	1944	コンクリート	北海道釧路市	海中に消える恐れあり	○	愛知航空機瀬戸臨工跡 豊野地下工場	1945	木	愛知県瀬戸市豊野	住宅地	△
海軍校・内務行務所 清定跡	1935	コンクリート	北海道釧路市	荒地化	×	大和軍航空隊基地 通信用防空壕	1945	コンクリート	鹿児島大分市	農業用の倉庫・私有地	□
美幌海軍航空隊第二基地跡 掩体壕	1938	コンクリート	北海道大津別町	私有地	□	北級丸れんが倉庫群	1902~	煉瓦・鉄骨煉瓦2階建	京都府舞鶴市	赤れんが博物館・市政記念館・海上自衛隊被爆館	○
戦内旧飛行場	1943	コンクリート	北海道厚岸町内路町大田	野鳥観察センター	□	旧海軍機関学校庁舎	1930	鉄骨造2階建	京都府舞鶴市	海上自衛隊舞鶴地方航空館第一庁舎	□
龍宮空襲機庫跡(津軽要港の一部)	1941	コンクリート	青森県東津軽郡	ペンチ(一部解体)	○	旧海軍機関学校 生徒館	1930	鉄骨造2階建	京都府舞鶴市	海上自衛隊第四師団学校庁舎	○
海軍碑山飛行場跡 清定跡	-	コンクリート	青森県下北半島	非公認	×	旧海軍機関学校 大講堂	1933	鉄骨造平家建	京都府舞鶴市	海上自衛隊舞鶴地方航空館第二庁舎・海軍記念館	○
旧海軍大津要港跡 水源地環境	1910	石造アーチ式	青森県むつ市	水源地公園内 むつ市管理 県指定重要文	○	大和軍航空隊大和基地跡 防空壕	1944	木造コンクリート	奈良県天理市田原町	田原の牛馬橋見小路	△
旧大津要港跡 会議所(旧大津水文文社)	1915	石造平屋建て鉄板葺	青森県むつ市	海上自衛隊展示資料館(北洋館)	□	友ヶ島炮台観測所跡 海軍聴音所跡	1941	煉瓦・石コンクリート	和歌山県和歌山市	熊野詣歩道敷	△
神崎海軍航空隊基地 若木山防空壕跡	1943	コンクリート	山形県東根市神町	一般公開 同神社氏子総代会管理	○	姫路海軍航空隊基地 対空機銃座 強襲庫	1942	コンクリート	兵庫県加西市	神戸大学農学部内 要許可	○
第一海軍 火薬庫被爆機庫跡	-	コンクリート	宮城県栗田郡大河町	仙台大学キャンパス・月田ロケット開発センター	○	美保海軍航空隊基地	1938	コンクリート	鳥取県美保町	米子空港	□
神ヶ池海軍航空隊 掩体壕	1944	コンクリート	茨城県鹿嶋市	桜花公園	○	美保海軍航空隊基地 掩体壕部	1944	木版コンクリート	鳥取県美保町	倉庫(一部美保基地内)	○
霞ヶ浦海軍航空隊 旧砲門	1912	-	茨城県鹿嶋市阿見町	阿見立町阿見小学校の正門	○	美保海軍航空隊基地 防空壕	1944	コンクリート	鳥取県美保町	航空自衛隊美保基地内	△
霞ヶ浦海軍航空隊 プール跡	1912	-	茨城県鹿嶋市阿見町	農材置き場(茨城大学農学部のキャンパス内)	△	大太鼓基地 防空壕跡	1945	コンクリート	鳥取県鹿嶋市	陸上自衛隊西沼跡場	○
土浦海軍航空隊 旧本部庁舎	1940	鉄筋コンクリート3階建て	茨城県鹿嶋市阿見町	栗平分 海上自衛隊武器学校	△	西郷平将軍記念館	1989	切石	鳥取県西郷町	立ち入り禁止	○
土浦海軍航空隊 司令台と砲隊指揮台	1940	-	茨城県鹿嶋市阿見町	司令台・ホールは使用禁止	○	旧海軍兵学校文庫	1988	イギリス系煉瓦	広島県安芸郡江田島町	江田島の遺蹟群。第一南科学館管理	○
土浦海軍航空隊 旧砲門跡	1940	コンクリート	茨城県鹿嶋市阿見町	武器資料館	□	旧海軍兵学校 教育参考館	1931	鉄筋コンクリート2階建	広島県安芸郡江田島町	史料館。山下舟却設計	○
鹿島海軍航空隊 旧司令部庁舎	1938	-	茨城県鹿嶋市鹿島町	近 years で病院施設。国立博物館管理	△	木造平屋 天然スレート葺	1909	広島県鹿島町	坂井小次郎設計。国指定重要文化財(建造物)	○	
鹿島海軍航空隊カナルトンネル 機銃機	1938	鉄筋コンクリート	茨城県鹿嶋市鹿島町	立ち入り禁止	△	海軍航空隊守衛室倉庫浄水場	1980	イギリス系煉瓦	広島県鹿島町	日本豊臣・豊後有形文化財	○
神ヶ池海軍航空隊 掩体壕	1944	コンクリート	茨城県鹿嶋市	桜花公園入り口前橋有り	△	二河水源地区の口	1889	石	広島県鹿島町	登録有形文化財	○
「元小笠原大士の墓」陸海軍の墓	明治	コンクリート	群馬県鹿沼市北町	市指定史跡	○	陸軍海軍航空隊基地 防空壕	1943	コンクリート	香川県三宝町	水上タウナーを利用して見学	○
父島要港	1923	-	東京都小笠原村父島	文化庁詳細調査予定	○	松山海軍航空隊基地 掩体壕	1943	コンクリート	愛媛県松山市	基地の一部松山空港	○
硫黄島	1945	-	東京都小笠原村硫黄島	民間人立ち入り不可	△	高知海軍航空隊基地	1943	コンクリート	高知県高知市	高知空港	○
海軍技術研究所本部	1930	-	東京都港区中目黒	防衛庁技術研究所本部第1研究所 外観保存	□	高知海軍航空隊基地 前浜掩体群	1943	鉄筋コンクリート	高知県高知市	内部で映画撮影	○
海軍大学校	1988	-	東京都品川区上大崎	厚生省国立防衛研究所本部分譲取り壊し	×	備前海軍航空隊基地 倉庫調整庫	1940	コンクリート素張り	福岡県糟屋郡宇治木町	防波堤。近代土木遺産200選	○
海軍第二航空隊在籍 地下軍需工場	-	-	千葉県千葉市	ゴルフ場跡地により一部埋没	×	被爆記念館 砲	1917	一部方塊	福岡県北九州市	防波堤。近代土木遺産200選	○
東京海軍無線電信所船橋 送信所跡	1913	石	千葉県船橋市行田	行田公園敷地内	○	志免集落 史	1943	イギリス製鉄筋	福岡県糟屋郡志免町	シンボルタワー。国指定重要文化財(建造物)	○
豊ヶ浦置洋基地跡 清り台跡	1945	コンクリート	千葉県鎌倉市	-	△	第四海軍 燃料貯蔵庫	1943	鉄筋コンクリート	福岡県糟屋郡	シンボルタワー。国鉄管理	○
豊ヶ浦置洋基地跡 格納庫	1945	コンクリート	千葉県鎌倉市	-	△	築城海軍航空隊基地 砲臺1号掩体壕	1944	鉄筋コンクリート	福岡県行橋市	畑の中(近年全面保存)	○
茂原海軍航空隊基地 本部跡	1941	-	千葉県茂原市	萩原小学校	□	笠之原海軍航空隊基地 掩体壕	1936	-	鹿児島県鹿屋市	畑の一部	○
茂原海軍航空隊基地跡 掩体壕部	1941	鉄筋コンクリート	千葉県茂原市	民家の屋根の中駐車場	△	出水海軍航空隊基地 砲臺指揮所地下壕	1937	-	鹿児島県出水市	立ち入り禁止	○
館山海軍航空隊 倉山地下壕	1944	-	千葉県館山市	市指定史跡・一部公開	○	出水海軍航空隊基地 哨舎	1937	-	鹿児島県出水市	特設碑公園(一部公園7階)	□
横須賀海軍航空隊基地 掩体壕	1937	コンクリート	神奈川県横浜市中区	公園(パークビュー、キャンパ)	×	知覧飛行機 弾薬庫	1942	公開	鹿児島県鹿屋市九州市知覧町	町指定史跡	○
田根横須賀鎮守府 庁舎	1928	-	神奈川県横浜市中区	日本海軍司令部・在日米海軍横須賀基地司令部	○	知覧飛行機 水塔庫	1942	-	鹿児島県鹿屋市九州市知覧町	町指定史跡	○
海上自衛隊横須賀地方航空監部田代分庁舎	1906	木造1階	神奈川県横浜市中区	横須賀地方航空監部管理・保存小次郎設計	○	鹿屋海軍航空隊基地跡	1943	-	鹿児島県鹿屋市	海上自衛隊鹿屋航空基地・鹿屋航空基地史料館	□
第一トラドリン(洋式鉄製所)	1871	-	神奈川県横浜市中区	カフォルニア州サンフランシスコの像	○	万世飛行機 清定跡	1945	土のみ	鹿児島県加賀田町	県立上浜海浜公園遊歩道	○
横須賀海軍病院 門柱	1888	コンクリート	神奈川県横浜市中区	現在も重要な原像施設	○	万世飛行機 窓門	1945	コンクリート	鹿児島県加賀田町	県立上浜海浜公園門	○
横須賀海軍病院跡 正門	1946	鋼板鉄・鉄筋コンクリート	神奈川県横浜市中区	ヴェルニー公園のオブジェ	○	宇佐海軍航空隊基地 掩体1号掩体壕	1939	鉄筋コンクリート	大分県宇佐市	史料館。市指定史跡	○
横須賀海軍工務隊庫庫跡 砲臺	1902	イギリス系煉瓦	神奈川県横浜市中区	砲臺跡之取壊。新沢米太郎設計	○	佐佐海軍航空隊基地 掩体壕	1943	鉄筋コンクリート	大分県佐伯市	登録有形文化財	○
相模湾海軍工廠 砲台工場	1940	石造平屋(切妻)	神奈川県横浜市中区	非公認	○	月賀砲台跡	1928	コンクリート壁	大分県豊後市	ミュージウムパーク月賀	○
記念館三笠	1902	鋼鉄	神奈川県横浜市中区	世界三大記念艦	○	回天大津基地 格納庫	-	-	大分県津久井郡津久井町	立ち入り禁止	○
海軍航空技術院 見山地下司令部	1944	煉瓦コンクリート	神奈川県横浜市中区	要許可	○	宮崎海軍航空隊基地新飛行機 掩体壕	1944	コンクリート	宮崎県宮崎市	畑の一部・庫庫・倉庫	□
旧砲兵隊 砲臺病院跡	1938	木造1階	神奈川県横浜市中区	見学不可。内務省官署管理局設計	○	宮崎海軍航空隊基地 飛行機 弾薬庫	1943	コンクリート	宮崎県宮崎市	農作物用資材倉庫	○
旧砲兵隊 砲臺病院跡跡	1938	木造2階	神奈川県横浜市中区	職員休憩室・倉庫。内務省官署管理局設計	○	佐佐海軍航空隊基地 砲臺	1923	鉄筋コンクリート2階建	長崎県佐世保市平島町	登録有形文化財	○
海軍功績顕彰館	1945	-	山梨県南都賀郡三軒	-	×	川瀬川魚雷発射試験砲	1918	石コンクリート煉瓦造	長崎県佐世保市川瀬町	子ども達の遊び場	○
浜名海兵団跡	1944	コンクリート	静岡県浜名郡都賀町	畑の一部	△	倉庫収蔵施設跡。レーン跡	1918	土版・石下・煉瓦版	長崎県佐世保市川瀬町	釣ヶ場	○
明治海軍航空隊基地 弾薬庫	1943	煉瓦	愛知県岡崎市	畑の一部	△	大村海軍航空隊基地 掩体壕	1923	コンクリート	長崎県大村市	下原口公園(明治時代建築家・ゲートボール用施設)	○
明治海軍航空隊基地 燃料庫跡	1943	コンクリート	愛知県岡崎市	畑の一部	△	針尾遠征所無敵館	1922	鉄筋コンクリート造	長崎県佐世保市針尾町	みかん畑のシンボルタワー	○
第一崎海軍航空隊基地 防空監視塔	1942	コンクリート	愛知県岡崎市	共同基地の中	△	敷敷知 トーチカ	1945	自然石	沖縄県宜野湾市	最高古公認	○
豊川海軍工廠 火薬庫	1938	木版コンクリート	愛知県豊川市	名古屋大学太陽地球科学研究所の敷地内 要許可	○	小津海軍基地 司令官舎	1944	コンクリート・漆喰	沖縄県豊後市	海軍軍門 一部公開	○

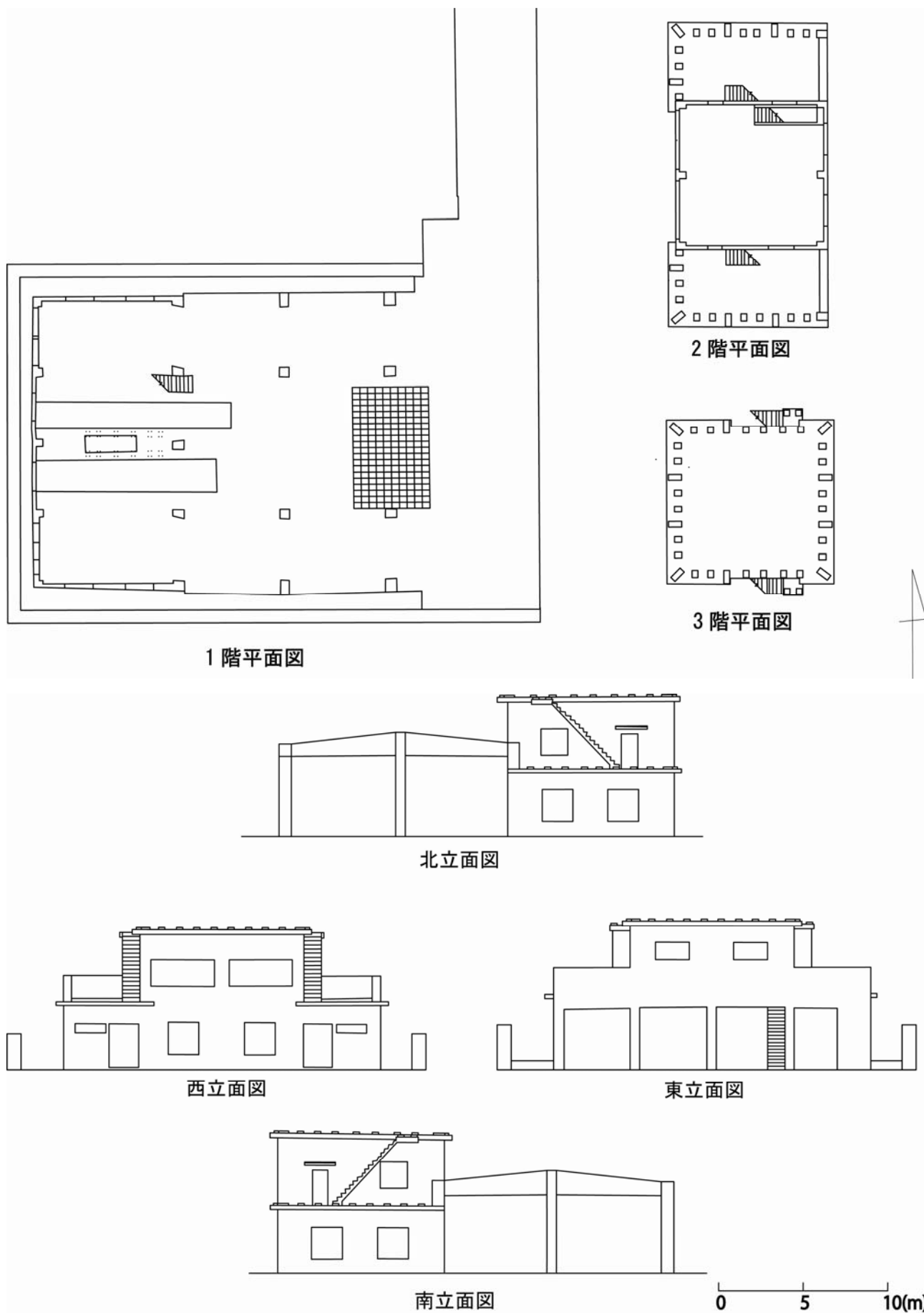


図-2 実測調査の作図例（回天発射訓練基地跡）



図-3 トンネル出口（補修前）⁴⁾



図-4 トンネル出口（補修後）

(3) 大津島の事例

回天発射訓練基地跡につながるトンネル内には、かつてトロッコ跡が残っていた（図-3）。

前回天記念館長の小川宣氏によると、「トロッコ跡はハイヒールで来る観光客が蹟くからという理由で、平成8年3月22日に竣工補修工事の際にコンクリートで埋め立てられた」という（図-4）。

このような理由で、埋め立て、取り壊しが行われたのでは、正確な歴史事実を後世に伝えることができない。このように機能性のみを重視した保存方法をしないためにも、的確な保存方法を選択することが必要である。

(4) 考察

管理状態不良の戦争遺産の共通点として、その事柄に関する情報の少なさ、管理者が不明瞭であること、人里離れた場所に位置しているということが挙げられた。また、指定文化財、登録文化財となっている戦争遺産の共通点は、その地にしかない、最初に竣工されたなど、希少価値が高いものである。しかし、回天発射訓練基地跡のように希少価値の高いものでも、指定文化財もしくは、登録文化財になっていないものが多いのが現状である。

歴史の重要性を後世に伝えることや、戦争を繰り返さない為の戒めを与えてくれるものとして考えると、管理体制を整え、現状維持をしていくことが望ましいと考えられる。

6. 結論

本研究では、戦争遺産の保存方法の現状を分類し、考察した。戦争遺産を保存する際重要なのは、戦争を繰り返さない為の戒めとしての役割や、戦場で起こった歴史事実を多くの人に伝えることである。現在、戦争での体験を語る人は少なくなっており、戦争遺産を通して戦争の事実を伝える役割も必要となってきた。この役割は、用途転換してしまっただけでは果たすことが出来ない。つまり、歴史事実を正確に伝えるには、戦争遺産の保存は現状維持が一番重要ということである。これは、計画地である大津島に現存する戦争遺産に限った事ではなく、多くの戦争遺産にいえることである。

註

表作成の際に使用した文献を以下に示す。

1. 下道基行:戦争のかたち
2. 「NPO こどもの教育を考える会」
<http://www.npo-kyouiku.org/index.html>
3. 安島太佳由:訪ねてみよう！日本の戦争遺産
4. 飯田則夫:図説 日本の軍事遺跡
5. 菊池実, 十菱駿武:しらべる戦争遺跡の事典
6. 杉本惇:旧軍史跡 現代に遺された戦争遺産

参考文献

- 1) 石本馨:戦争廃墟, pp.121-124, ミリオン出版, 2006.
- 2) 「土木学会 中国支部」
<http://www.jsce.or.jp/committee/doboku-isan/2006/table.pdf>
(最終アクセス:2010/04/08)
- 3) 小川宣:あゝ回天写真集特攻基地から平和の島へ, p.8, p.12, p.42, 赤坂印刷株式会社, 2005.
- 4) 小川宣:前掲書, p.8, p.12, p.42